



Crossculture  
Publishing  
Company Ltd.

# 新刊案内



Crossculture  
Publishing  
Company Ltd.

2020年7月10日発売

不平等と序列社会を超えて!!

エコする知

# 格差・貧困の社会史

■著者：庄司俊作（同志社大学名誉教授）

■体裁：A5判・並製 190頁

■定価：本体2,000円＋税

ISBN978-4-908823-65-7 C0036

CPC リブレ  
No. 13

今、格差・貧困という視点から日本の歴史と社会はどのように見えるか。  
日本の雇用システムの形成、展開に伴う日本社会の相貌と変化を、1920年代から戦後の高度経済成長期までのおよそ50年間の階層間の格差・貧困の実相と変化を明らかにし、歴史を動かした人びとの姿を浮き彫りにする、著者渾身の一冊。

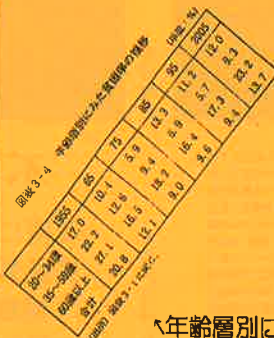
**【目次】序章 不平等と序列社会を超えて** 1 近現代格差・貧困史の消点 2 日本型雇用システムの定義 3 「歴史の消点」としての高度経済成長 4 欧米化への流れ **第1章 サラリーマンの登場と新身分社会** はじめに 1 格差・貧困問題の今と昔 (1) 非正規雇用の急増と生涯未婚 (2) 戦前の格差・貧困問題 (3) 近世と近代の類似性と差異 2 昭和初年のサラリーマンと新身分社会 (1) 戦前の普通の生活 (2) サラリーマンと学校歴社会 (3) サラリーマンの「費用対効果」 3 「よそ者」としての職工・女工 (1) 加太こうじの経験 (2) 企業の身分秩序と職工差別 (3) 紡績女工は「よそ者」 4 農民の貧困 (1) 村における大きな格差 (2) 農民の貧困 (3) 資本主義の発展と広範な農外就業 (4) 不利化する農業 おわりに **第2章 戦争と格差・貧困** はじめに 1 物騒な時代と戦争の時代 (1) 呑気な時代 (2) 「窮乏の農村」と暗殺 (3) 戦争と平等 2 戦時下のサラリーマンと職工 (1) サラリーマンの家計 (2) 職工をめぐる戦時下の状況 3 大田区の町工場と工員 (1) 躍進する町工場 (2) ある職人作家の経験 4 戦争と農民 (1) 上向く農家経済 (2) 大内力の戦時下農村ルポ (3) 増田家の行商経済 5 太平洋戦争下の〔革命的状況〕 (1) 清沢別と『暗黒日記』 (2) 「中流社会・知識階級の没落」と「革命」 おわりに **第3章 戦後民主主義と高度経済成長の格差・貧困** はじめに 1 サラリーマンと労働組合 (1) 敗戦直後の労働組合と組合幹部 (2) 平等への希求 2 身分制の撤廃と収入平準化 (1) 敗戦直後の身分制撤廃 (2) 高度経済成長直前の状況 (3) 高度経済成長による変化 3 大学の大衆化と格差・貧困 (1) 農民の教育格差と昭和20年代 (2) 大学の大衆化と農家 4 中・高卒の人びとの生活史 (1) もう一つの高度経済成長と格差・貧困 (2) 中学卒業後の生活史 (3) 中卒女子の場合 おわりに

図表1-3 各企業の学歴別初任給

三井物産 会社別	三井物産	住友金業	東京瓦斯 〔東京〕	高島屋	加島銀行
帝大	90	80	75 (M41)	80	80
阪大	80	80	75	80	80
同享村部	75	70	70	70	70
神戸高商	75	80	70	65	70
慶大・早大	75	72	60	45	75
地方高商	55~70	64	60	60	60
中央・池袋・明治各大学部	65~70	72	55 (M41 M101)		
私大専門部	50~60		50		65
中等学校 普通科	35	40 (M41 M101)	35	45	35~38

〔出所〕 資料「サラリーマン物語」(東洋経済出版部、1928年)の「初任大卒待遇一覧表」70~79頁より企業を任意に選び作成。

↑各企業の学歴別初任給 (本文 P.30)



↑年齢層別みた貧困率の推移 (本文 P.142)

図表3-5 学歴別初任給の推移

	(単位：千円、円)					
	中学卒(A)	高校卒(B)	大学卒(C)	B/A	C/A	C/B
1955	4.1	6.6	10.7	1.61	2.61	1.62
65	13.2	16.4	23.0	1.24	1.74	1.40
75	58.0	70.4	83.6	1.21	1.44	1.19
85	96.2	112.2	140.0	1.17	1.46	1.25
95	142.0	154.0	194.2	1.08	1.37	1.26

〔出所〕 表3-1に同じ。150頁の表より一部修正のうえ引用。

↑学歴別初任給の推移 (本文 P.144)

クロスカルチャー出版 〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-7-6 電話：03-5577-6707 ファクス：03-5577-6708

【注文短冊】書店印

発行：クロスカルチャー出版 TEL：03-5577-6707 FAX：03-5577-6708

## 格差・貧困の社会史

■定価：本体2000円＋税

ISBN978-4-908823-65-7 C0036

【お客様の名前】

ご担当者様 ( )

冊

住所

☎

庄司 俊作 (しょうじ しゅんさく)

1952年兵庫県生まれ。同志社大学名誉教授 博士 (経済学)。

著作

『近代日本農村社会の展開』(ミネルヴァ書房、1991年)

『日本農地改革史研究』(御茶の水書房、1999年)

『近現代日本の農村』(吉川弘文館、2003年)

『日本の村落と主体形成』(日本経済評論社、2012年)

『国家と農業、農村』(同志社大学人文科学研究所、2017年)など

編著

『大学の協同を紡ぐ』(コープ出版、2012年)

『市町村合併と村の再編』(農山漁村文化協会、2014年)

『戦後日本の開発と民主主義』(昭和堂、2017年)など

ISBN978-4-908823-65-7

C0036 V2000E

定価(本体2,000円+税)



9784908823657



1920036020003

エコーする〈知〉

格差・貧困の社会史

庄司俊作

CPCリブレ No.13

エコーする〈知〉

# 格差・貧困の社会史

庄司俊作

今、格差・貧困という視点から日本の歴史と社会はどのように見えるか。日本の雇用システムの形成、展開に伴う日本社会の相貌と変化を1920年代から戦後の高度経済成長期までのおよそ50年間の階層間の格差・貧困の実相と変化を明らかにし、歴史を動かした民衆の姿を浮き彫りにしたい。 —本書序章より

序章 不平等と序列社会を超えて 1 近現代格差・貧困史の視点 2 日本型雇用システムの発展 3 「歴史の視点」としての高度経済成長 4 戦後への流れ 第1章 サラリーマンの登場と新身分社会 はじめに 1 格差・貧困問題の今と昔 (1) 非正規雇用の急増と生涯未給 (2) 戦前の格差・貧困問題 (3) 近世と近代の雇員性と差別 2 昭和初期のサラリーマンと新身分社会 (1) 戦前の普通生活 (2) サラリーマンと学費問題 (3) サラリーマンの「費用対効果」 3 「よそ者」としての職工・女工 (1) 加太こうじの経験 (2) 企業の本分秩序と職工差別 (3) 紡織女工は「よそ者」 4 農民の貧困 (1) 村における大きな格差 (2) 農民の貧困 (3) 資本主義の発展と広範囲農外就業 (4) 不利化する農業 おわりに 第2章 戦争と格差・貧困 はじめに 1 複雑な時代と戦争の時代 (1) 争奪時代 (2) 「窮乏の農村」と班長 (3) 戦争と平等 2 戦時下のサラリーマンと職工 (1) サラリーマンの家計 (2) 職工をめぐる戦時下の状況 3 大田区の町工場と工場 (1) 躍進する町工場 (2) ある職人作家の経験 4 戦争と農民 (1) 上向く農家経営 (2) 大内力の戦時下農村ルビ (3) 増田家の行商 5 太平洋戦争下の「運命」状況 (1) 演習所と「晴風日笠」 (2) 「中流社会・加地降臨の夜霧」と「革命」 おわりに 第3章 戦後民主主義と高度経済成長の格差・貧困 はじめに 1 サラリーマンと労働組合 (1) 戦後直後の労働組合と職労部 (2) 平等への希望 2 身分制の崩壊と雇人平等化 (1) 戦後直後の身分制崩壊 (2) 高度経済成長直後の状況 (3) 高度経済成長による変化 3 大学の大衆化と格差・貧困 (1) 農民の教育格差と昭和20年代 (2) 大学の大衆化と農家 4 中・高卒の人生と生活史 (1) もつ1つの高度経済成長と格差・貧困 (2) 中学卒業後の生活史 (3) 中卒女子の場合 おわりに あとがき 引用・参考文献

## 不平等と序列社会を超えて

貧困に対する新しい見方で歴史を顧み、高度経済成長の時代に確立する日本の雇用システムと「1億総中流」の根元をさぐる。不平等と序列社会の超え方は——

クロスカルチャー出版

CPCリブレ 13